

# 飛躍

TOKAI UNIVERSITY FUZOKU TAKANAWADAI SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第240号



東海大学付属高輪台高等学校 学校報

●発行日/2006年1月1日

●発行者/東海大学付属高輪台高等学校 校長・杉一郎

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate thy thought in thy early days

若き日に汝の体躯を養え

Make thy body vigorous in thy early days

若き日に汝の智能を磨け

Improve thy wisdom in thy early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Chain thy hope to the stars in thy early days

TOP\*NEWS

## あけましておめでとうございます

### 東南アジア大会

## 保科知彦君(柔道フィリピン代表)銅メダル獲得

### ドーハでのアジア大会出場決定



アロヨ大統領夫人(左から3人目)を囲むフィリピン代表選手たち(保科君は右から3人目)



銅メダルを口に



## 新年を迎えて

校長 杉 一郎

新年明けましておめでとうございます。新しい年の始まりにあたって、2005年を振り返ってみますと、ベストティーチャー制の導入から始まりました。初代ベストティーチャーに神田先生、宮島先生、吉川先生、松本(初)先生が選出されました。春には、アメリカンフットボール部が長い休部状態から脱し活動を再開しました。東海大学工学部航空宇宙学科にパイロット養成コース「航

空操縦学専攻」が新設されることが発表になり、進路面で大きな希望がまた一つ生まれました。もっとも驚いた事の一つに、保科君の世界柔道大会出場が挙げられます。保科君は、12月には、フィリピンで行われた東南アジア大会にも、フィリピン代表として参加しました。皆さんの仲間がナショナルチームの一員として活躍するのは、とても誇らしいことです。秋には、もう一つうれしい知らせが飛び込んできました。吹奏楽部の全国大会金賞受賞です。昨年度は、悔しい涙を流した吹奏楽部が、見事金賞に輝きました。この他にも、ダンス部の全国大会出場、レスリングのインターハイ出場、柔道部、アーチェリー部、水泳の関東大会出場など、各部活動が

優秀な成績を収めています。さて、秋にはナイター照明付き全天候型のテニスコート、ラグビーポール、野球場外野ネットフェンス、得点ボード、ダッグアウト、サブグラウンド改修など、総合グラウンドの第3期工事が始まりました。3月末までには工事も終わり、新年度の部活動、スポーツ大会、体育移動教室、体育祭などで、活用できると思います。秋の建学祭、体育祭も大成功に終わり、特に建学祭では、過去最高の入場者となり、後援会の皆様からは、けやき屋食堂・バザーの収益金として、例年の1.5倍に当たる170万円を超える寄付を頂き

ました。SSH活動も2年目を迎えて、活発な活動を展開しています。3月には、本校アリーナで関東エリア指定校合同発表会を開催いたします。また、今年夏には、海洋学部の望星丸を利用した関東5校連携の海洋実習活動も予定しています。

さて、新年を迎え、私たちは更なる飛躍をいたします。高輪杯の開設など新たな活動も準備していますが、詳しいことは、新年度のスタートする4月にお知らせしたいと思います。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

## 科目等履修生の中堅報告



**小川 博子**  
3年4組 港区立高松中学校出身

私は付属推薦に合格し、現在は体験留学生として週2日、文学部の文芸創作学科で講義を受けています。1年生の頃から志望していた学科です。実際に受講してみると、自分の持っている知識の偏りに気付かされ、

より深い学習意欲が湧いてきました。昨年の学園オリンピックでご指導いただき、感銘を受けた先生方のお話はやはり興味深いものです。特に文芸批評の講義に関心をいただきました。そして文章の構成や創作に対する心構えを学び、技術面だけではなく精神面でも成長できていると思います。大学入学後には、映画や演劇に関する講義で学習を深め、将来にはそこで得た知識を活かし、舞台芸術や映画に携わる仕事で活躍したいです。



**井口 詩麻**  
3年9組 船橋市立船橋中学校出身

私は今、体育学部体育学科でスポーツ運動学とスポーツ心理学の講義を受けています。スポーツ運動学では、例えば、陸上の100mを毎回11秒前半で走る選手が10秒台へ突入する為に、指導者は選手に対してどのような練習方法を用意したらよいのか、あるいは、誤った練習法とはどのようなこと

なのかなどを学んでいます。スポーツ心理学では、外国のメンタル強化の方法や、一流選手がプレッシャーをどのようにプラスにしているのか、また三流選手と一流選手の違いは何かなどを学んでいます。メンタルは試合結果を左右する程、大切なものにもかかわらず、日本のスポーツ界はロシアなどよりもメンタルへの考えが50年ぐらいも遅れているそうです。そのためオリンピックなどで勝てないと言われているのです。体育学部にはこの他にも1,000以上の学問的分類があるので、これからも大学生活が楽しみです。

# ハワイ長期留学 (FEST) の中間報告

今年度からハワイのHTIC (ハワイ東海インターナショナルカレッジ) への長期留学の制度 (FEST) を本学が設けました。参加者には学校から30万円の奨学金が授与されます。その第1号生として、3年11組の大野由梨子さんが9月より3月26日までの予定で留学しています。大野さんの生き生きとした中間報告が届きました。

## 文化の違いに驚いた!!



大野 由梨子

3年11組  
大田区立大森第六中学校出身

ハワイに来る前、私は大して緊張していませんでした。これから何が起るのか、全く予想がつかなかったというのが本音です。こちらに来て文化の違いの一つひとつに驚いたり感心したりしています。

まず、車が右側通行だということです。当たり前だと思われるかもしれませんが、実際に乗ってみると、日常と違うということはなかなか不思議な感じがして不安になるものです。また、町を歩いていると、見知らぬ人に声を掛けられたことが何度かありました。初対面ですから、私はどうしようかと困ってしまうのですが、英語を勉強しに来ていると言うと、「すぐに上手くなるさ」などと、優しく言葉を掛けてくれたりします。中には「金を貸してくれ」などという、そんな人もい



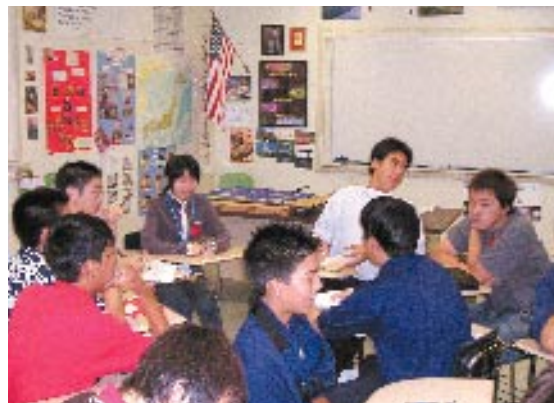
ダイヤモンドヘッドの頂上で

て驚かされます。でも優しい人の方がずっと多いと思います。授業については、日本とは全く違い、驚きの連続です。特に驚いたことは、試験日を先生と生徒が話し合っ決めていくということです。その理由を聞いてみると、1日に2つも3つも試験があったら疲れてしまうというのです。先生と生徒は完全にイコールではないけれど、アメリカでは友達のように接するようで、教師と生徒間のメリハリを感じました。授業は、プレゼンテーションをしたり、TOEFLの勉強、ハワイ史を習ったりしています。レポートの為に図書室で調べものをするもありますが、蔵書はほとんど英語なので、本を読むだけでも大変です。

残りの留学期間はあと3ヵ月。日本に帰るまでに私が出来る事を精一杯やりたいと思います。



えひめ丸事故犠牲者の慰霊碑で清掃活動



現地の高校生との交流



## SSH活動報告

11月5日、東海大学湘南校舎で行われたポーランドのスタニスワフ・フィリペック博士による科学特別講義と実験実習に、1・2年生のSSHクラス50名が参加。フィリペック博士はかつて日本のポーランド大使館で外交官の経験もおありの異色の科学者です。午前中は、「ポーランドと日本のつながり」および「高圧状態での物質の変化」について博士の講義でした。午後は、東海大学松村義人助教授の指導でイオン化傾向や燃料電池についての実験を行いました。多少難しい内容もありましたが、いずれも日常生活に関連している事柄だったので、生徒は興味をもって真剣に取り組んでいました。

### フィリペック博士の講義を聴いて

伊藤 紅葉

2年11組 北区立豊島中学校出身

私たちは、フィリペック先生に日本とポーランドの関係についての話をさせていただきました。1917年のロシア革命の混乱の中、日赤がシベリアで飢えと寒さに苦しむポーランド人孤児たちに救援の手を差し伸べたそうです。日本に招き、子供達が大きくなるまでの3～4年間、手厚い保護をしたようです。阪神淡路大震災が起きると、今度は逆に日本人の子供達がポーランドに招かれ、震災の時に受けた傷を癒すように助けてくれたそうです。地震があった事はとても悲しい事ですが、おかげで日本とポーランドの絆がより強くなりました。

次に高圧の世界の話をさせていただきました。水素から金属を作るときに高圧の条件が必要です。このときに生じた電気を、クリーンなエネルギーとして使えば、エネルギー資源の問題や地球温暖化が防げるかもしれません。まだ実験途中で実現はできていないようですが、いつか近い未来、利用できる日が来ると感じました。私もこれからの世界に貢献できるような実験をしていきたいと思います。



講義中のフィリペック博士



様々な金属の電気の流れやすさを調べる実験

### これからのエネルギー

高濱 佳彦

1年10組 蕨市立第一中学校出身

午前中の講義では新しいエネルギーに向かう世界の姿勢に、触れることができました。午後は、はじめにトタン板や銅板など、数種類の金属へそれぞれ電気を流し、金属ごとの電気の流れやすさを調べるという実験をしました。身近な金属を使ったので、それらが何故身の回りで多く使われているかなど、理由とともに学ぶことができました。そして、これからのエネルギーを担うであろう、燃料電池の実験を行いました。これは結果がでるまでに時間がかかり、もう少し時間があればよかったと残念に思いました。

この日の活動は内容が濃く、大変でした。しかし、それ以上に得たものも多く、充実した一日でした。

### 燃料電池をつくる

芳賀 俊紀

2年11組 横浜市立新羽中学校出身

僕が今回の実験で興味がわいたのは午後に行った燃料電池をつくる実験でした。燃料電池とは太陽電池に代表されるような二酸化炭素を出さない、次世代のエコロジーの電池のことです。

今回、実験で使った材料は食塩水と木炭と電源装置です。

まず、電極作成用の銅線を巻きつけた木炭を食塩水の入ったピーカーに入れ、電源装置の電源を入れて木炭に電気をためます。それを発光ダイオードやモーターに繋げて電気を送り込みます。身の回りにあるもので、簡単な燃料電池が作れることに驚きました。さらに不思議な現象として実験中のピーカーの水の色が電気分解により透明から水色に変化し、さらに茶色の層が水色の上に重なり2層になったのです。その変化に驚きました。

今回実験を行って、今や自動車のエンジンとしても使われる燃料電池の仕組みがよくわかりました。

今回はたった一日の活動でしたが、機会があればまたフィリペック博士の講義を受けたいと思いました。



博士と交流する生徒達



## 活躍

## する卒業生

## Active Graduates

1987年卒

小島 圭一

ロサンゼルス・ドジャース  
スカウト

「希望を星につないで活躍する先輩」、今月は、メジャーリーグのロサンゼルス・ドジャースのスカウトをしている小島圭一さんです。そう、あの野茂英雄投手が活躍したチームです。小島さんは、怪我などで現役を引退後、舞台を大きく広げ、ドジャースのスカウトに転身。チームの縁の下の力持ちとして有望な選手の発掘、調査、そして交渉に近い事まで行っています。

来年で卒業から20年目。早いものです。大きな夢を持ってプロ野球の世界に飛び込み、右も左も判らぬまま走ってきました。

野球と言うと一見華やかに見られがちですが、それは一部分であって、そこに行くまではいろいろとありました。私の経歴を簡単に記しますと、高校卒業後、読売巨人軍に入団、8年間在籍後渡米、その後、日本、台湾、再びアメリカと渡り歩きました。その間の、たくさんの人との出会いと貴重な経験が私を支えてくれています。その様な中で学んできたことが、自分自身の力(内側の力)となっています。なんとなく入ったプロの世界は厳しいものでした。巨人に在席した8年間は怪我との戦いで、楽しい思い出はほんの少し。その後も合計で5回の手術をするなどまさに自分との戦いでした。自暴自棄になった

時期もありましたが、「このままでは・・・」という気持ちで、大きなパワーとなりました。私はよく精神的にも強いと言われますが、決してそのような事はありません。みんな一緒です。先の見えない未来(将来)はみんな怖いですが、私は決して投げ出さなかった。孤独の日々でしたが、孤独が人を成長させてくれる事も学びました。私は本をたくさん読みます。先人たちの苦勞に比べれば、私の人生なんて恵まれているのだらうと思えてきます。在学中の皆さんも、いろいろと不安、悩みがあると思いますが、生きている証拠です。大いに悩み、考え、学び、一歩ずつ歩いて行きましよう。そうすれば必ず良い事

があります。良い出会いがあります。必ず誰かが見ています。私の造語で「夢限」というのがあります。夢は限りない、という意味です。皆可能性があるのです。決してあきらめないで、一歩進む勇気を持って日々過ごして下さい。きっと楽しい人生になりますよ。

皆さんとお会い出来る日を楽しみしております。



ドジャース・スタジアムでスタッフ一同  
(3列、右から3人目が小島さん)

## 高輪短大 INFORMATION

コミュニティビジネス  
という生き方

内田 直仁

情報・ネットワーク学科講師

世の中には様々な仕事があり分類も様々ですが、その一つに官・民という区別があります。官は公共サービスを行う役所、民は営利を追求する企業が代表的な例でしょう。この両者の隙間、官民共に仕事

市民が助かる仕事があります。それは地域特有で、少数ニーズですが、確実に存在するものです。それらを必要な経費だけ頂き運営する仕事となります。コミュニティビジネスは一般業種に比べ、成功

率は3倍と言われていています。話題のIT社長のようには儲かりませんが、安定性は高いようです。これは、官民が参入しないオンリーワン分野だからと思われています。これらの運営にも、一般企業と同様のマネジメント能力が求められます。声なき声を拾う情報収集能力やビジネス実現への企画・運営力等。やはりどんな形であれ、仕事をするためには専門知識は必要そうですね。短大では、実社会に役立つ知識を得るだけでなく、それを実現するための演習も重視して授業を展開しています。

# 希望を星につないで

## 東南アジア大会 保科君 銅メダルの快挙

フィリピン・セブ島で開催されたアジア大会で、柔道の保科知彦君が最年少で見事銅メダルを獲得しました。この快挙に、フィリピンのアロヨ大統領の夫君が保科君を祝福してくれました。北京オリンピック、その次のロンドンオリンピックの選手として、保科君を国を挙げて応援してくれています。



### 母の祖国で 自分らしい柔道をして 銅メダル獲得!!

保科 知彦  
3年9組 足立区立花畑北中学校出身

僕は、12月1日から5日までフィリピンのセブで行われた東南アジア大会に出場しました。2年に1度、世界選手権と同様に行われ、今年で23回目になります。今回の試合は、フィリピンをはじめ11カ国が出場しました。また、国によっては優勝すれば、家や土地も支給されるぐらい国の代表として、名誉のある大会です。



出場するにあたって、1週間ほど前から現地で合宿を行い、ナショナルチームと早めに合流しました。そして、試合当日、カイロの世界選手権の反省を活かし、勝つことだけを考え試合に臨みました。相手のほとんどが、自分より大きな体格の選手ばかりでした。僕は絶対に勝つことができるのだという強い気持ちから、準決勝まで上ることができたのだと思っていました。しかし、準決勝でタイの選手に残り10秒で一本負けしてしまい、3位決定戦にまわりました。監督の酒井先生に、「勝っても負けてもこれで終わ



りだ！悔いの残らぬよう楽しんでいってこい」と背中を叩かれ、自分らしい柔道をしようと、気持ちを引き締めて立ち向かいました。その結果が、銅メダルに繋がったのだと思います。

ナショナルチームの合宿で、チームメイトと一緒に生活していくなかで、自然に外国の人と、英語を話す抵抗がなくなっていくのを実感しました。カイロの世界選手権大会で感じたことは、言葉の壁でした。まだ文法はしっかりとしていませんが、買い物や、日常生活では、困らなくなりました。国際試合に参加するためには、英語をさらに勉強しなくてはならないと思いました。今後は、インタビューぐらいは英語で話せるようになりたいです。

母の祖国であるフィリピンは、真夏の青い空、青い海でした。ここで獲得した銅メダルを持って帰ることを僕は誇りに思います。しかし、今回の試合は通過点です。1月に行われる、嘉納杯に繋げていきたいと思っています。試合に出場するごとに自分を研ぎ、より多くの国際大会で活躍したいです。最後に、応援して下さった先生方、家族、クラスのみなさん本当にありがとうございました。

監督の酒井先生と





## アーチェリー 関東大会出場

アーチェリー部  
真島 志帆  
2年8組 渋谷区立広尾中学校出身

11月13日、先輩達の活躍を見て以来ずっと目標の一つだった関東大会に出場してきました。144射全て気持ちよく撃て、良い試合にすることができました。結果は38人中20位というのですが、自己ベストに近い満足行く結果を残せました。しかし、試合に行く前まではずっとスランプ気味で思うような点数が出せず悩んでいました。そのため射場に行つて練習を沢山したり、体調をなおすためと気分転換を兼ねてしばらく休んだり色々試してみましたが、それでも出発前日まで元の調子には戻りませんでした。

ところが、試合会場で他の選手と話をしたり、コー



チや先生、友人たちからの励ましの言葉を聞くうちに、吹っ切れたように迷いやプレッシャーから解放され、試合だけに集中する事ができました。

今回の試合で関東圏内での自分のレベルを知る事ができました。そして、どれだけ励ましの言葉が自分の力になるかが分かりました。次はもっと上を目指します！



## 吹奏楽部定期演奏会 ミューザ川崎・すみだトリフォニー 3年生最後の舞台を楽しみました

定期演奏会実行委員長  
嶋田 麻里  
3年4組 文京区立第十中学校出身

昨年11月に行われた第16回定期演奏会は、初めての2会場3公演でした。合計3,800人の方が私達の演奏を聴いて下さいました。毎日の練習の成果を出しきり、本番を終えた後は達成感と感動で胸がいっぱいになりました。

お客様のアンケートから

- 迫力ある演奏に感動。音に艶がある。
  - 色鮮やかな衣装やダンスが舞台を華やかに楽しめました。
  - 私も付属高輪台高等学校に入学してステージと一緒に演奏したい。(中学生)
- このような、今後の私達の活動の参考になるご意見、



ご感想をたくさんいただきました。そして、私達はこの演奏会の後、平成17年度秋田県吹奏楽協議会での演奏会を依頼され、湯沢と横手の2会場で、演奏をして来ました。これが私達3年生にとっては、最後の演奏会でした。部員一同、これからもたくさんの方々に楽しんでいただけるような演奏会をつづけていきたいと思ひます。



## お知らせ

### 希望を星につないで一健闘を祈る!!

#### 嘉納杯国際柔道大会

1月15日 日本武道館

東南アジア大会で銅メダルの保科知彦君(3年9組)  
フィリピン代表で出場

#### インターハイ スピードスケート

1月22日~26日 北海道苫小牧市

戸倉翔一君(3年11組)2年連続出場  
東京都大会での戸倉君の成績 500m・1000m・3000m各優勝

#### 全国選抜大会 アーチェリー

3月26日~28日 静岡県掛川市

真島志帆さん(2年8組) 出場



## 行事予定

January 1月

February 2月

- 1日(日) 元日
- 6日(金) 新春懇親会
- 9日(月) 成人の日
- 10日(火) 朝礼・授業開始
- 11日(水) 専門医によるカウンセリング
- 14日(土) 東海大学進学相談会(2年)
- 16日(月) 校医相談日(13:00~16:00)
- 18日(水) 本校推薦願書受付
- 21日(土) 特設模試(2年)(外部会場)
- 22日(日) 本校推薦入試
- 23日(月) 本校推薦入試合否発表
- 24日(火) 本校推薦入学手続き
- 25日(水) 本校一般願書受付(~31日)
- 28日(土) 英検・漢検(9:00~12:00)
- 31日(火) 特別講座終了(3年)

- 1日(水) 朝礼
- 2日(木) 学年集会(2年)
- 3日(金) 大学入試説明会(河合塾、1・2年)
- 4日(土) 一日看護体験
- 6日(月) 校医相談日(13:00~16:00)
- 8日(水) 金曜日の授業、専門医によるカウンセリング
- 10日(金) 本校一般入試(生徒自宅学習日)
- 11日(土) 建国記念の日
- 12日(日) 本校一般入試合否発表
- 13日(月) 本校一般入試手続(平常授業)
- 16日(木) 生徒による授業評価アンケート(1・2年)
- 17日(金) 基礎力判定テスト(5教科、1・2年)
- 24日(金) 登校日(3年)
- 27日(月) 3年生を送る会、高輪会入会式(3年)
- 28日(火) 期末試験(~3月3日、1・2年)

## 昼休みの校内の様子



## 編集後記

謹賀新年。理系の友人と会うと、だいたい科学技術の話になる。特にSSHでも書かれているが、化石燃料の枯渇が50年後あたりという。1年ごとに断末魔の音が聞こえてくるようだ。その時どうなるだろうか。見てみたい。しかし、人間は賢いから新たなエネルギーを開発して乗り越えるのだらうと思う。一方、脳梗塞で身体の自由を失った免疫学の大家が広島原爆碑の前で、「科学者が原爆を作ってしまった」と、苦悶する姿が暮れのTV映像に映し出された。科学者の心の叫びを見た。良い一年であれといつも祈る。(ゆ)

東海大学付属高輪台高等学校

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>